

高知市浦戸湾初記録のニセゴイシウツボとアミメウツボ (ウナギ目ウツボ科)

阪本匡祥・石川晃寛・町田吉彦

New record of moray eels *Gymnothorax isingteena* and *G. pseudothyrsoides*
from Urado Estuary in Kochi City, southern Japan
(Anguilliformes : Muraenidae)

SAKAMOTO Masayoshi, ISHIKAWA Akihiro and MACHIDA Yoshihiko

Abstract Two moray eels, *Gymnothorax isingteena* (Richardson, 1845) and *Gymnothorax pseudothyrsoides* (Bleeker, 1852) are reported for the first time from Urado Estuary in Kochi City on middle coast of Tosa Bay, southern Japan. In Kochi Prefecture these two species have been known only from western district.

Key words: moray eels, *Gymnothorax isingteena*, *Gymnothorax pseudothyrsoides*, new record, Urado Estuary, Kochi City, southern Japan.

ウナギ目のウツボ科は世界の熱帯域から温帯域にかけて広く分布し(波戸岡, 2004), 本邦産のウツボ科のウツボ属には34種が知られている(Hatooka, 2002). Kamohara (1964)は高知県産の魚類をまとめ, 11種のウツボ属を報告した. その後, 平田ほか(1996)により高知県西部に位置する幡多郡大月町の柏島で9種のウツボ属を記録されたが, これら以外に高知県産のウツボ属に関するまとまった報告はない.

著者らは高知市の浦戸湾で2種のウツボ属を得た. 蒲原(1958)は浦戸湾に生息する魚類を報告したが, これに含まれたウツボ属はウツボ *Gymnothorax kidako* (Temminck and Schlegel, 1846)のみであり, これ以降に浦戸湾からのウツボ属の記録はない. 本研究で得られた2種は, ニ

セゴイシウツボ *Gymnothorax isingteena* (Richardson, 1845)とアミメウツボ *G. pseudothyrsoides* (Bleeker, 1852)と同定された. これらは浦戸湾未記録の種であり, また, これまで高知県内では西部の足摺岬とその西方のみからしか知られていないことから, 以下に報告する.

標本はいずれも釣りにより得られた. 産地は浦戸湾湾口の東岸に位置する高知市種崎の貴船漁港(33°29'52"N, 133°34'07"E)である. 両種の学名はFishBase(<http://www.fishbase.org/search.php>)に従った. なお, 標本は高知大学理学部海洋生物学研究室(BSKU)に保管されている.

Gymnothorax isingteena (Richardson, 1845)

(Fig. 1)

ニセゴイシウツボ

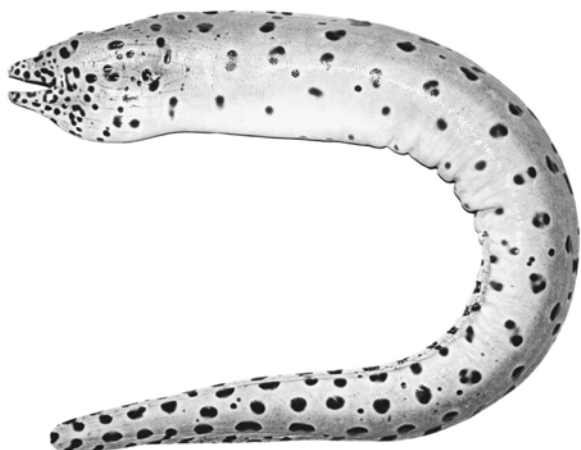


Fig. 1 . *Gymnothorax isingteena*, BSKU 79879, 856mm in total length, from Urado Estuary, Kochi City.

調査標本(1 個体) : BSKU 79879, 全長856mm, 2006年10月 5 日 .

記載 : 肛門は体のほぼ中央に位置する . 鰓孔は黒くなく , 背鰭起部より後方にある . 吻端は丸く , 両顎の先端に突起がない . 口裂は水平で , 完全に閉じることができる . 上顎と下顎の先端はほぼ等しい . 歯は鋭く , 切縁に鋸歯がない . 主上顎骨に鋭い歯があり , 1 列をなす . 鋤骨歯は主上顎骨歯よりはるかに小さく , 1 列に並び , 歯列は主上顎骨の歯列より短い . 前上顎骨板の中央部に 3 本歯が 1 列に並び , 最後方の歯が最も長い . これらの歯は鋸歯がなく , 鋭くて可倒 . 下顎歯は 1 列で , 前方の歯は大きい .

頭と体は淡黄褐色で , 黒色の斑紋がある . 口内にも黒色の斑紋がある . 体の斑紋は円形ないしわずかに楕円形でまばらに分布し , 大きさは一定しないが , 一部の斑紋は連続する . 頭部の斑紋は体の斑紋より明らかに小さく , また , 密に分布する . 背鰭と臀鰭にも斑紋がある .

備考 : 本邦産のウツボ科の種の詳細な検索が Hatooka (2002) により示されており , 本標本は Hatooka (2002) に基づき , ニセゴイシウツボと同定された .

本邦産のニセゴイシウツボの斑紋の変異は波戸岡 (2004) が示している . Hatooka (2002) によれば , ニセゴイシウツボの斑紋は円形から楕円形で , それらがしばしば連続し , 波戸岡 (2004) は

成長すると黒斑は相対的に小さくなるとしている . BSKU 79879の体の斑紋は Hatooka (2002) と波戸岡 (2004) が示した全長 1 m を超えるニセゴイシウツボよりはるかにまばらであるが , 斑紋の形状が Hatooka (2002) の記述に一致した .

本種は , 本邦では和歌山県以南に分布する (Hatooka, 2002 ; 波戸岡, 2004) . 波戸岡 (2004) は , 足摺岬の西方の渭南海岸に位置する高知県宿毛市沖ノ島で撮影されたニセゴイシウツボの水中写真を示しているが , 標本に基づく本種の高知県からの記録は本研究が初めてである . なお , 駿河湾産の本種の画像が http://fishpix.kahaku.go.jp/fishimage/advanced_search.html で公開されており , 本種が和歌山県より北方に分布することは明らかであるが , 今後 , 和歌山県以北での標本の採集に基づく記録が必要となる .

Gymnothorax pseudothyrsoides (Bleeker, 1852)

(Fig. 2)

アミメウツボ

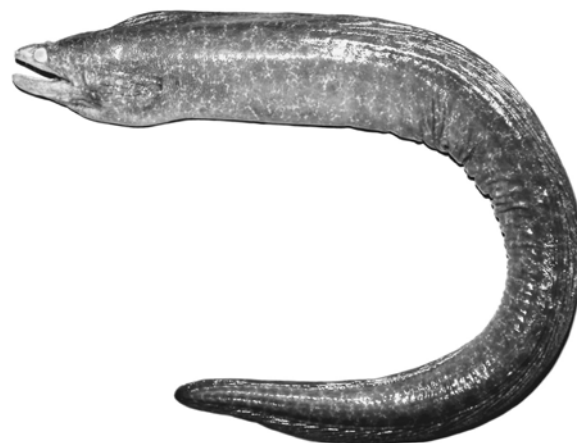


Fig. 2 . *Gymnothorax pseudothyrsoides*, BSKU 79877, 628mm in total length, from Urado Estuary, Kochi City.

調査標本(3 個体) : BSKU 79877, 全長628mm, 2006年 9 月25日 ; BSKU 79878, 全長610mm, 2006年 9 月29日 ; BSKU 79881, 全長675mm, 2006年10月 5 日 .

記載 : 肛門は体のほぼ中央に位置する . 鰓孔は黒くなく , 背鰭起部は鰓孔より後方に位置する . 両顎の先端に突起がない . 口裂は水平で , 完全に閉じることができる . 吻端は丸く , 上顎と下顎の先端はほぼ等しい . 歯の切縁に鋸歯がない . 主上顎骨歯は 1 列 . 鋤骨歯は主上顎骨歯よりはるかに

小さく，1列に並び，歯列は主上顎骨の歯列より短い。前上顎骨板の中央部に3本歯が1列に並び，中央の歯が明らかに短い。これらの歯は可倒。下顎歯は1列で，前方に大きな歯がある。

上顎と下顎の部分を除き，頭と体は茶褐色で背側が濃色。口内も上顎歯と下顎歯の基部以外は茶褐色。体側には黄白色の小斑点があり，これらが連なって線状となり，やや大きな網目状の斑紋を形成する。頭部に小黑斑があり，上下両顎の部分は淡色。

備考：本標本は Hatooka (2002) に従い，アミメウツボと同定された。

Hatooka (2002) は，本種が本邦では紀伊半島，高知県柏島および沖縄以南に分布するとし，その後，本邦における分布域を南日本としている（波戸岡，2004）。本種の高知県初記録は平田ほか（1996）によりなされたが，それまでの本種の国内の産地は沖縄島以南であった。平田ほか（1996）の記録は，足摺岬西方の渭南海岸に位置する幡多郡大月町柏島産の KSHS（高知高等学校生物学教室）21987に基づいている。本種の土佐湾初記録は角田（2001）によりなされ，足摺岬の東側の付け根に位置する土佐清水市以布利の定置網で得られた1個体に基づいている。その後，高知県産の本種の標本は報告されておらず，本種が土佐湾沿岸の中央部で初めて確認されたことになる。

浦戸湾はかつてパルプ廃液で強度に汚染されていたが，近年，佐藤ほか（2005）および三宅ほか（2006）が魚類の貴重種を報告している。これらの研究はおもに人力による小型曳き網に基づく調査であり，今後，釣りを含めた採集方法により，浦戸湾の魚類相の解明が望まれる。

謝 辞

本研究室の山川武氏にはニセゴイシウツボを同定するにあたり助言をいただいた。記して感謝の意を表します。

引用文献

- Hatooka, K. 2002. Muraenidae. In (Nakabo, T., ed.) Fishes of Japan with pictorial keys to the species. pp. 196-211, 1452-1455. Tokai Univ. Press, Tokyo.
- 波戸岡清峰. 2004. ウツボ科. (岡村 収・尼岡 邦夫, 編: 山溪カラー名鑑 日本の海水魚, 第3版) pp. 70-79. 山と溪谷社, 東京.
- 平田智法・山川 武・岩田明久・真鍋三郎・平松 亘・大西信弘. 1996. 高知県柏島の魚類相—行動と生態に関する記述を中心として—. 高知大学海洋生物教育センター研究報告, (16): 1-177, pls.1-3.
- 蒲原稔治. 1958. 浦戸湾内の魚類. 高知大学学術研究報告, 7(13): 1-11.
- Kamohara, T. 1964. Revised catalogue of fishes of Kôchi Prefecture, Japan. REPORTS OF THE USA MARINE BIOLOGICAL STATION, 11(1): 1-99.
- 三宅崇智・佐竹直人・黒木広大・町田吉彦. 2006. 高知市浦戸湾南部に生息するハゼ科魚類. 四国自然史科学研究, (3): 38-49.
- 佐藤友康・高田陽子・佐竹直人・黒木広大・町田吉彦. 2005. 高知県浦戸湾の潮間帯で採集されたヨウジウオ科魚類 (硬骨魚綱: トゲウオ亜目). 四国自然史科学研究, (2): 26-32.
- 角田慎一郎. 2001. ウツボ科. (中坊徹次・町田吉彦・山岡耕作・西田清徳, 編: 以布利黒潮の魚 ジンベエザメからマンボウまで). p. 146. 大阪 海遊館, 大阪.

(原稿受理 2007年3月31日)